

今のまちを残したい

- ・被災してもこのまちに住み続けたい
- ・今のまちが十分便利であるため、そのまま残したい
- ・今住んでいる人が戻ってくるようなまちを作りたい

地域の繋がりを強めたい

- ・人が集まれる場所を作りたい
- ・地域活動やイベントを増やし、コミュニティを強化したい
- ・人を楽しませる街にしたい

にぎわいのあるまちにしたい

- ・広い無料の駐車場が欲しい
- ・飲食店が賑わっている街にしたい
- ・ゆっくりできる昔ながらの喫茶店が欲しい
- ・テーマパークを作りたい
- ・コミュニティ強化や防災力向上だけでなく、経済効果も踏まえたまちづくりをしたい

住みやすいまちにしたい

- ・病院を増やしたい
- ・保育園を増やしたい
- ・子育てしやすいまちにしたい
- ・バスが狭い道路を走っているため、広い道路も通るように整備したい
- ・路面電車が通る範囲を広げたい（五台山付近まで行けるように）
- ・真っ直ぐな道路が多いため、自動運転バスを整備しやすいのではないかと

公園を残したい

- ・弥右衛門ふれあいセンターを建て替えたい
- ・都市公園を作りたい

備えておきたいこと

- ・各避難場所に非常食などを備蓄しておけると安心（公園施設にも）
- ・このようなワークショップや地元の集まりを通して防災意識を高めたい
- ・住民の防災意識が高い街を作りたい



■お知らせ

(回答はこちらから⇒)

ホームページ上に掲載した「意見投稿プラットフォーム」でも意見を募集していますので、気軽にご回答ください。



■お問い合わせ先

高知市 防災政策課 事前復興まちづくり担当
 TEL : 088-823-9055
 FAX : 088-823-9085
 Mail : kc-080200@city.kochi.lg.jp

高知市 事前復興 まちづくり ニュース VOL.1

R8.4.2

中央地区 事前復興まちづくり計画 第1回ワークショップ (弥右衛門地区)を 開催しました!

地域の方
21名参加

ワーク1は2ページ、ワーク2は3ページ、ワーク3は4ページに表示しております

※掲載スペースの関係により、すべての意見を載せてはおりません。ご了承ください。

●ワークショップの内容（予定）

第1回 R8.2.28 開催

- ・地区の良いところ・残したいもの、普段の生活で困っていることについて
- ・復興パターン2案について
- ・楽しくなるような未来のまちについて

第2回 令和8年6月頃 開催予定

- ・目指すべき姿（案）について
- ・修正復興パターンについて
- ・速やかに復興するために必要なことについて

第3回 令和8年10月頃 開催予定

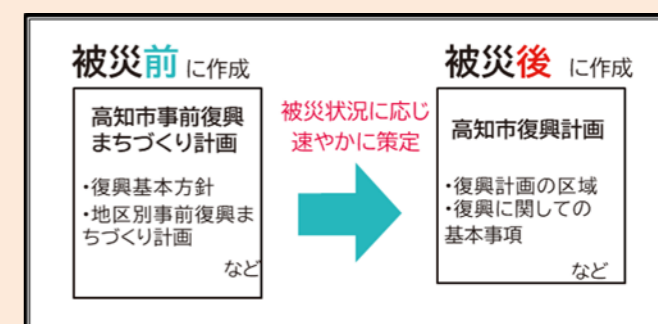
- ・修正復興パターン（最終案）について
- ・災害が起きる前からできることについて

2月28日（土）、弥右衛門ふれあいセンターにて、中央地区事前復興まちづくり計画第1回ワークショップを開催しました。ワークショップでは「地区の良いところ・残したいもの、普段の生活で困っていること」、ワーク2では「復興パターンについて」、ワーク3では「地区で住み続けたいくなるような楽しい未来の姿」について、みんなで話し合いました。

事前復興まちづくり計画とは？
 南海トラフ地震を想定し、被災前に復興まちづくりの目標や課題解決のための方策をとりまとめたものです。市で作った計画案を基に、地域の皆さんと一緒に作っていきます。

計画策定の効果

- ① 早期の復旧・復興事業の着手により、街の復興を早める
- ② 適切な基盤整備の規模で被災地を復興できる
- ③ 人口流出の抑制につながる



●暮らし

良いところ・残したいもの

- ・店舗が多くて便利である
- ・蔦屋書店、とさのさと、サニーマート、アグリコレットに観光客が集まる
- ・地区内を徒歩で移動しやすい
- ・温泉がある
- ・フットサル場がある



困っていること

- ・家賃が高い

●公共施設

良いところ・残したいもの

- ・大きな公園がある（弥右衛門公園など）
- ・公園で花見ができる
- ・地球33番地、藁工倉庫、周辺の遊歩道を残したい



困っていること

- ・公園や公民館がない地区がある
- ・各町内会が災害用品を備蓄できる場所がない

●災害

良いところ・残したいもの

- ・洪水対策ができています
- ・高さのある建物が多い
- ・地区内の小中学校の防災意識が高い
- ・新しい家が多く、耐震化が進んでいる



困っていること

- ・津波避難ビルの情報が少ない（建物のどこに避難できるのかなど）
- ・防災公園（弥右衛門公園）があるのに、高齢者がそこまで行けない
- ・地盤沈下が心配である
- ・液状化が心配である
- ・江ノ口川より南側は防災意識が高いが、北側は低い
- ・コミュニティが薄いため、災害時が心配である

●地域

良いところ・残したいもの

- ・古くから住んでいる高齢の方もいて、世代を超えたつながりがある
- ・マンション内で集まる会やイベントの参加者が多い
- ・若者が多い
- ・人の集まれる場所を残したい
- ・町内に個人の飲食店があり、地域の会を開催できる



困っていること

- ・結成されている町内会が少ない
- ・町内活動で集まる住民が少ない
- ・町内活動が薄れ、次世代につながっていない
- ・地域コミュニティが弱い
- ・マンションが多いため、住民の入れ替わりが頻繁に行われる
- ・高齢化が進んでいる

●公共交通

良いところ・残したいもの

- ・JR、とさでんなど、公共交通機関が充実している



困っていること

- ・場所によっては、公共交通機関が少ない

●道路

良いところ・残したいもの

- ・過去の区画整理によって道が広く、街全体が基盤の目になっている
- ・小学生の交通事故が少ない



困っていること

- ・道が入り組んでいる
- ・交通量が多いため、渋滞が多く、事故が多発している
- ・信号待ちが長い
- ・歩道が狭い

【第1案】二線堤形成案



いいね！

- ・防災と経済の両立ができる1案が良い
- ・にぎわい形成エリアによって、街に活気が出そう
- ・街全体を津波から守ることができる

ちょっと心配…

- ・二線堤を整備する際に、近くのマンション等に影響が出ないか心配

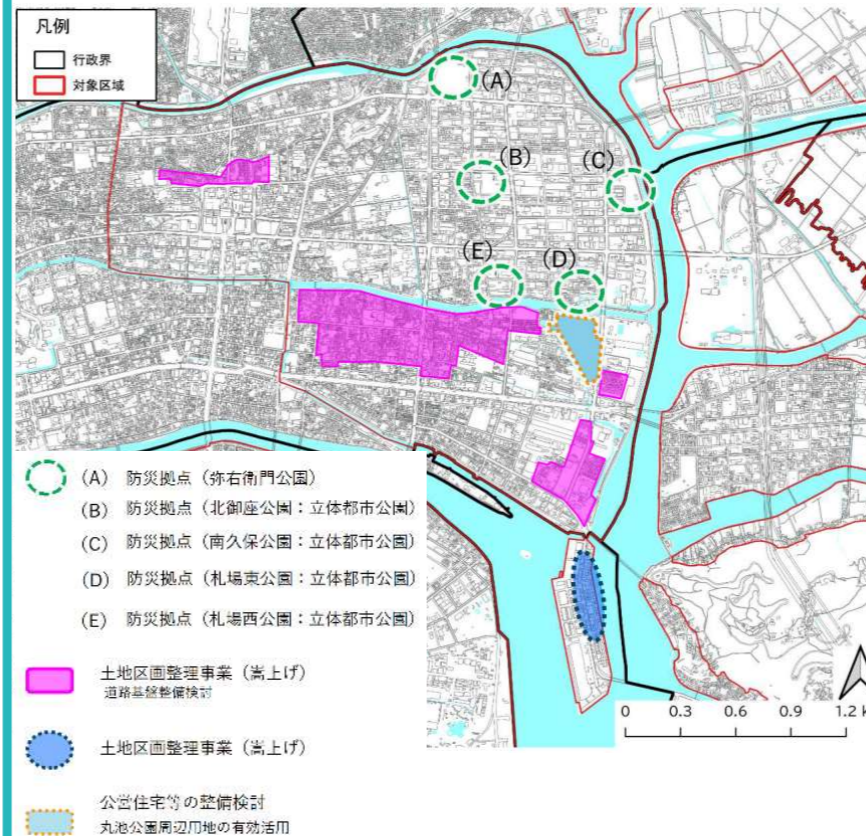
こうしてほしいな

- ・第1案の中に、第2案で提案している防災拠点を1～2箇所組み込んでほしい

1案と2案の共通意見について

- ・液状化対策を加えて欲しい
- ・景観を良くするため、河川を綺麗にしたい
- ・人口減少が進む中で、復興事業費を確保できるのか心配である
- ・この2案が作られた背景を次世代に繋いでいきたい
- ・気候変動や海面上昇などのリスクが心配である
- ・にぎわいエリアを整備することは、デメリット（治安の悪化や騒音）も生じるため、地域特性も踏まえて整備したい
- ・この中で事前を行うことができる事業がないか検討してほしい
- ・復興期間をできるだけ短くしたい

【第2案】防災拠点形成案



いいね！

- ・2案が現実的ではないか
- ・この地区のシンボルとなる弥右衛門公園を防災拠点にできるのは良い

こうしてほしいな

- ・事前に嵩上げなど対策ができないか
- ・弥右衛門公園以外の公園も防災公園にできないか
- ・公園の大きさによって規模は変わるかもしれないが防災拠点を増やしたい
- ・防災拠点をやるなら、いつでも誰でも使用できるものにしてほしい
- ・防災拠点の下層階に商業施設、上層階に住宅を整備するのはどうか